

東京都立多摩図書館の移転オープンについて

都立多摩図書館は、現行施設の老朽化が進むとともに、収蔵能力の限界が近づいたことなどから、「都立多摩図書館の施設整備について」（平成23年1月）に基づき、施設及びサービスを充実し、平成29年1月29日、国分寺市に移転しオープンする。

【所在地】

東京都国分寺市泉町二丁目2番26号

【最寄駅】

JR中央線・武蔵野線西国分寺駅南口 徒歩7分

【開館時間】

月曜日から金曜日 10時～21時

※中央図書館に準じ、1時間半延長

土・日・祝・休日 10時～17時半



多摩図書館の施設

「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現するとともに、収蔵庫及び閲覧スペースの拡大により、収蔵能力と開架資料の拡充を図る。
※<>は現行施設との比較

- (1) 専有延床面積 8,972㎡ <2倍>、地上3階
- (2) 収蔵可能冊数 285万冊 <3倍>
- (3) 開架冊数 10万1千冊 <3倍>
- (4) 閲覧席 227席 <1.5倍>
- (5) 特色ある施設



※絵はイメージ

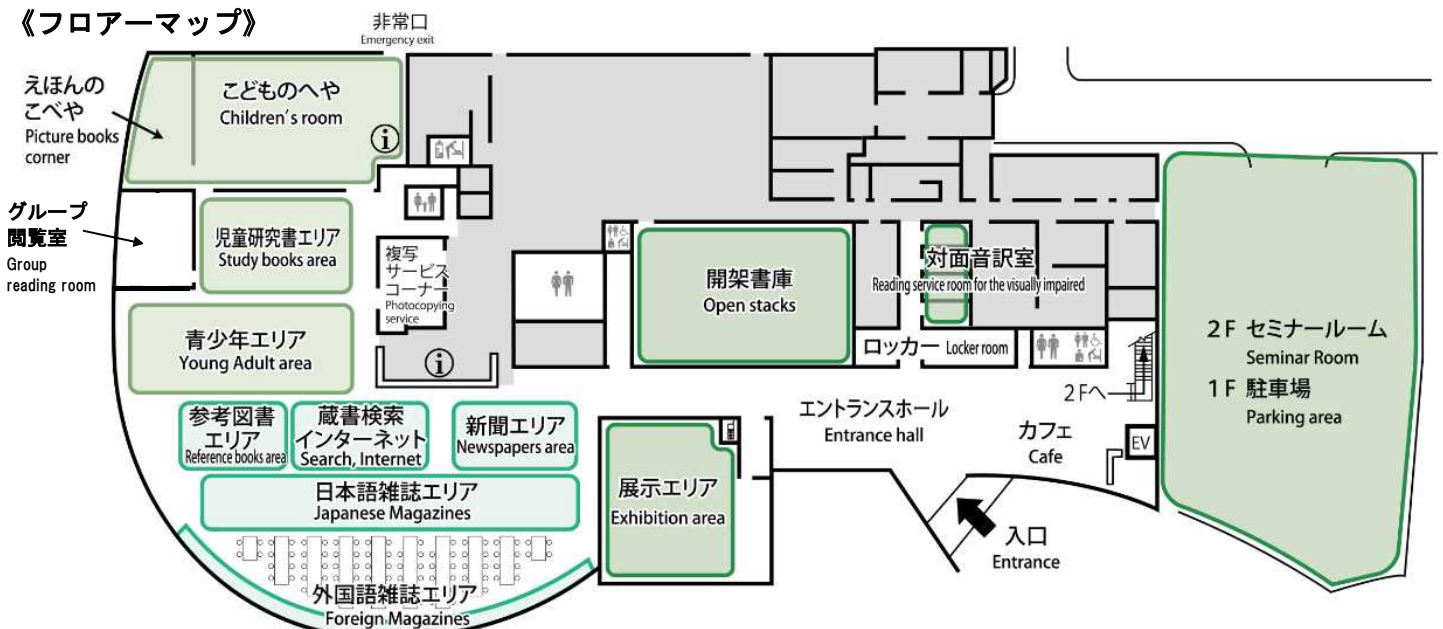
セミナールーム：大規模な研修等を行える [約200名(2分割利用可)] 有料貸出

グループ閲覧室：打ち合わせをしながら資料を利用できる [約20名(2分割利用可)]

カフェスペース：エントランスホールに広がる利用者の憩いの場 [20～30名]

- (6) その他 館内に無料Wi-Fiサービス、屋上に太陽光発電設備、館内にLED照明を配置

《フロアマップ》





《アプローチ広場》

保存する既存プラタナス2本を図書館へのエントランスゲートと見立て、導入空間を構成する。

床材には多摩産材を用いた木レンガブロックを採用し、多摩地域の図書館としてふさわしいエントランス空間を創出する。

外装材には森の木々との相性を考慮し、白いタイルとリン酸処理スチールパネルを使用する。



《エントランスホール》

風除室を抜けた先の吹抜上部をガラス張りとする事で、閉架書庫の圧倒的な量の本を見せる『魅せる書架』とした。

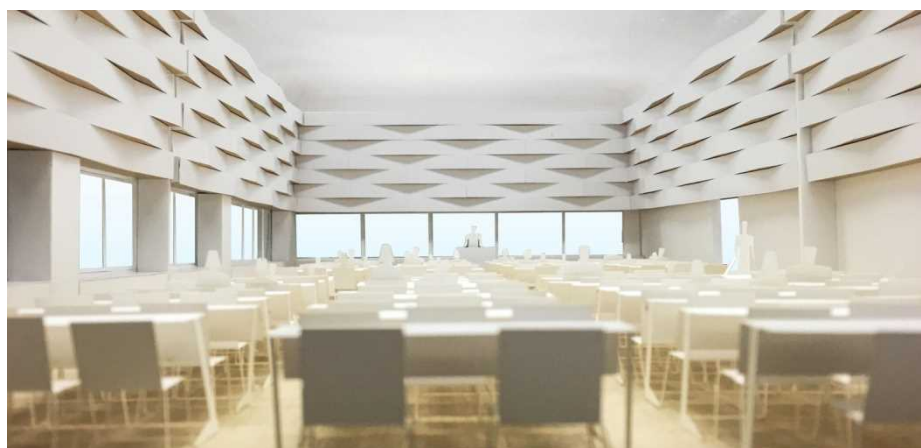
また、開架閲覧室に至る動線上の壁面を、創刊号コレクション等の様々な展示や各種情報を掲示出来る『森の掲示板』と位置づけ、多摩産材ツキ板シートを多用する空間とした。



《開架閲覧室》

開架閲覧室には、外装材に使用するタイルとスチールパネル（リン酸処理）を一部内装に連続させることで『森の中の本の森』のコンセプトを体感できる半外部のような空間を実現した。

また、多摩図書館のサービスの特徴である「東京マガジンバンク」から着想を得た『バンク(連続するもの)』状の構成をデザインコードとし、反復を強調した書架配置やライン照明を採用した。



《セミナールーム》

約200名が使用できるセミナールームには、音のフラッターエコー防止を意図し、凹凸の壁面を設けている。

また、凹凸壁の下端には多摩産材ツキ板シート、上端にはグラスウールを敷き込むことで、多摩地域の図書館が持つセミナールームとしての意匠と機能を両立した。

多摩図書館の特徴

- (1) 都立多摩図書館は、雑誌による専門的情報サービスを行う「東京マガジンバンク」と子供の読書活動を推進する「児童・青少年資料サービス」の2つの機能を備える。
- (2) 中央図書館と相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行う。
- (3) 都民の調査・研究や課題解決に役立つ図書館として、また区市町村立図書館や学校への支援など、様々なサービスを行う。

多摩図書館の主なサービス内容

※<>は現行施設との比較

1 東京マガジンバンク

時代の社会経済状況を先鋭的に捉え、速報するといった、図書とは異なる雑誌ならではの有用性に着目し、雑誌による専門的情報サービスを行う。

(1) 雑誌に特化した公立図書館として国内最大級規模

- 開架（最新1年分）：約6,000タイトル <11倍>
 - ・所蔵雑誌：約17,000タイトル（うち 外国語雑誌1,400タイトル）
女性誌と鉄道誌に力を入れて収集
 - ・創刊号コレクション：明治期以来のあらゆるジャンル 約6,600タイトル

(2) 雑誌を活用したサービス

- 雑誌に関する区市町村立図書館への協力貸出の対象を拡大 <3.5倍>
- ・都民の知的創造と交流の拠点となるよう、定期的に都民参加が期待できるテーマによる講演会等を実施
- ・古い雑誌も製本せず保存し、一度にまとめて利用できる大量出納サービスを実施

2 児童・青少年資料サービス

東京都の子供の読書活動を推進するため、年代に応じた多様なサービスを行うとともに、学校や区市町村立図書館を支援する。

(1) 東京都の子供の読書活動推進の拠点としての資料提供

- 開架：約81,500冊 <2.5倍>
- 児童書選書コーナー：約4,500冊（新刊1年分）<2倍>
- ・児童書、青少年資料、児童書等研究書：約22万冊

(2) 対象別の主なサービス・支援

- ・幼児・児童：子供専用相談カウンターの設置やおはなし会の実施 等
- ・学校：調べ学習講座の実施や選書情報の配信 等
- ・区市町村立図書館：講師派遣や研修等の実施、ガイドブックの作成 等
- ・子供読書に関わる大人：読み聞かせボランティア育成講座の開催 等

■東京 2020 オリンピック・パラリンピック対応

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、「英語教育の充実」や「国際化の推進」を図書館から発信する。

(1) オリンピック・パラリンピック教育を柱とする学校支援

- ・オリンピック・パラリンピック関連ブックリスト作成とWEB公開

(2) 図書館の施設や資料を活用したサービス

- 外国語雑誌12言語411タイトルを開架 <27倍>
- ・外国語の雑誌や児童書を活用した交流会等の実施

今後の予定

1 開館までのスケジュール

平成28年10月～

- ・所蔵資料の搬出等、移転作業を開始
- ・雑誌や一部資料を開架するなど、閲覧室を活用して可能なサービスを継続

平成28年12月19日(月)

- ・現在地(立川市)での多摩図書館の開館終了

平成29年1月29日(日)

- ・移転先(国分寺市)において多摩図書館開館

2 開館時のイベント等(予定)

(1) オープニングセレモニー

多摩図書館がスケールアップして移転オープンすることを祝し、来賓等関係者を招いたセレモニーを実施

(2) 移転オープン記念イベント

多摩図書館の知名度をアップすることを主目的に、集客力のあるイベントを移転オープン記念として集中的に実施

① オープン当日企画

- ・記念展示(雑誌と絵本を活用したテーマを設定)
- ・トークイベント(都民の皆さんに読書のすばらしさを共感していただけるゲストとテーマを設定)
- ・バックヤードツアー
- ・おはなし会

② その他

- ・記念講演会(マガジンバンク、児童・青少年サービス)
- ・移転オープン記念映画会(16ミリフィルム)
- ・創刊号コレクション目録の作成

※ 詳細は11月末に公表、報道発表の予定